

## 第4回Kシステム体験・見学会

### \*\* 日程と作業内容 \*\*

#### 5月9日(木) 現地事前調査と打合せ

場所： 君津市亀山 三井物産社有林

参加者： 三井物産フォレスト 吉田部長以下5名とK-BETS：脇野、米谷、

#### 5月28日(火)：

16：00、飯能、森林組合事務所で機材の積込、脇野、米谷、他

#### 5月29日(水) 前日の準備作業

参加者：三井物産フォレスト/吉田部長以下5名

K-BETS/ 脇野、米谷、渡辺、福島、吉澤、宮地、本多と支援の鴨下

9：00：現地集合

全体取りまとめ：脇野、吉田 進行責任者：米谷(マイク)、 技術指導：鴨下、渡辺

受付・会場：宮路、本多 記録：福島(写真)、吉澤(データ)

- ・トラックから発電機・駆動装置・其の他機材 積み降し 全員
  - ・会場準備：案内板、受付の設置、駐車スペースの確認、等 宮地、本多
  - ・駆動装置をナイロンスリングで立木に固定 ー 駆動装置と発電機を接続する
  - ・駆動装置に装着してあるチェン(緑色で着色)を分離し他のチェンと接続する
  - ・駆動装置でチェンを動かし次のチェンを接続する(チェンを動かす時には必ずチェンに防錆油を塗布する事、チェンの振れを修正しながらつなぐ事)
  - ・順次チェンを接続しループにする、チェンが振れないように注意して接続する
  - ・ループにしたチェンにフリー滑車を固定する。
  - ・ポートウインチのワイヤーのフックを引き出してフリー滑車固定の立木にかける
  - ・チェンをつけたフリー滑車をポートウインチで牽引する、左右のチェンが交差しないように切り株等を利用して分ける
  - ・立木にフリー滑車をナイロンスリングで固定する
  - ・チェンを動かし振れ等チェンの動きをチェックする(必ず防錆油を塗布する事)
  - ・駆動装置側でキャップを絡めてワイヤーをカラビナでチェンに架ける
  - ・チェンを動かしキャップとワイヤーを牽引する
  - ・順次、チェンを止めてキャップを架けてフリー滑車側にする
  - ・フリー滑車側では、牽引されてきたキャップ・ワイヤー・カラビナをはずす
  - ・牽引する木にキャップを被せてワイヤーを絡める
  - ・チェンを動かし木を牽引する
  - ・チェンが動いている間に次の木の装着の準備をする
  - ・牽引されてきた木をチェンから外す
  - ・外したキャップ・ワイヤー・カラビナをフリー滑車側へのチェンに架ける
  - ・チェンが動いている間に、外した木をポートウインチで離れた場所に引出す
  - ・問題なければ3本連続して牽引する
- 16：00 撤収準備、
- ・フリー滑車を立木から外す
  - ・フリー滑車を外れないようにチェンに固定する
  - ・駆動装置でチェンを動かし引き寄せる
  - ・ポートウインチも翌日のために駆動装置側に戻しておく
  - ・引き寄せたチェンは順次20～40mの単位で袋に入れる

- ・ チェンの一箇所分離する（翌日連結作業を見せる為）
- ・ フリー滑車側では本番で20（？）本の木が順次出せるように木を寄せておく
- ・ 駆動装置側では、連続して引き出す木の始末が出来るように準備する
- ・ ブルーシートをかけて作業終了
- ・ 各作業と機材の写真撮り（宮地）、動画（福島）
- ・ 斜度・距離・木の長さ・径、作業時間測定（吉澤、本多）

17:00 翌日の打合せをして解散

## 5月30日（木）、体験会

参加者予定者：三井物産フォレスト/吉田部長他5名

K-BETS/ 脇野、米谷、渡辺、吉川、福島、進藤、宮地、本多、岩田、阿部、篠崎、鴨下

8:00、現地集合

集合場所から現地までの間に、道案内板電柱に取付け（宮地、本多）

8:15 全体ミーティング

全体責任者：脇野、 進行責任者：米谷（マイク）、作業全体責任者：鴨下、

三井物産フォレスト取りまとめ：吉田

技術指導・解説：渡辺（マイク）、会場係責任者：宮地

受付：見学者対応：宮地、進藤、吉川、阿部、篠崎

記録・写真：福島、宮地、本多

10:00 ふれあいパーク・きみつ内「片倉ダム記念館」前駐車場に出迎え、

10:15 体験会開始、司会（米谷）、挨拶（吉川）、作業内容概略説明（米谷）

体験希望者は連結環・チェーン・キャップ・カラビナ・ボルトウインチ等に触ってもらう。

見学希望者は見学場所から全体を觀ってもらう。

10:20 駆動装置の設置から連続集材開始までの各作業の説明（米谷）と実演（各担当者）

実演作業：連結環の接続、ボルトウインチでチェンとフリー滑車の牽引、フリー滑車の立木への取付け、空のキャップにワイヤーを絡めてカラビナでチェンに架ける、キャップをフリー滑車側にチェンで牽引、伐倒した木にキャップを付けてチェンに架ける、チェン駆動、牽引されて来た木を外す、キャップとカラビナ・ワイヤーを降りのラインに架けて戻す、外した木を外へ引きだす、

11:30から連続作業～12:00天候不順に付き体験会を終了した。

12:00～13:00 休憩、その後昨年実験を行った最大斜度40度の別の現場に参加者をご案内してこのような斜面でも問題なく処理することができる事を説明した。

14:00 撤収作業、フリー滑車を外し、チェンで駆動装置側へ引寄せ、チェンは順次袋へ収納、

15:00 全て撤収作業が完了した。

5月31日 飯能で機材積降し 脇野、米谷、他

10:00 西川広域森林組合事務所 で積み降し

以上 作成 米谷